

令和4年度第2回南相馬市小高区地域協議会 会議録

- 1 日 時：令和4年5月25日（水）  
午後2時00分～午後3時30分  
2 場 所：浮舟文化会館 研修室

【出席委員名 13名】

会 長	林 勝典	委 員	小牛田 一男
副会長	阿部 貞康	委 員	末 芳治
委 員	末永 義人	委 員	飯塚 宏
委 員	小林 友子	委 員	杉 重典
委 員	本田 博信	委 員	半谷 恵美子
委 員	西山 喜代子	委 員	志賀 由紀夫
委 員	渡邊 静子		

【欠席委員 2名】

委 員	今村 秀身
委 員	堀内 洋伯

●南相馬市職員

小高区役所長	上野 勝
小高区地域振興課長	佐藤 克巳
小高区市民総合サービス課長	高野 真至
小高区地域振興課自治振興担当係長	烏中 いずみ
小高区地域振興課副主査	大場 優
小高区地域振興課主事	森 和紀（書記）

## 1. 開 会

○事務局

只今より令和4年度第2回小高区地域協議会を開催いたします。本日の会議の成立要件につきまして、事務局より報告を申し上げます。

本日の欠席委員は、今村秀身委員、堀内洋伯委員です。地域協議会委員15名中、13名の出席ということで、過半数を超えております。協議書10(2)により、本日の会議は成立しております。初めに、林会長からご挨拶をお願いいたします。

## 2. 会長あいさつ

小高区地域協議会 林会長よりあいさつ

## 3. 新任委員及び職員紹介

渡邊静子委員、末芳治委員、志賀由紀夫委員よりそれぞれ一言  
小高区役所職員から自己紹介

## 4. 小高区役所長あいさつ

小高区役所長よりあいさつ

## 5. 職員紹介

小高区役所長・地域振興課長・市民総合サービス課長・  
自治振興担当係長・事務局担当職員(2名)自己紹介

## 6. 議 事

○事務局

議事の進行については、規定により、会長が会議の議長となります。林会長、よろしくをお願いいたします。

### (1) 議事録署名人の指名

○林会長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人は、末永 義人委員、小林 友子 委員の2名にお願いいたします。

## (2) 報告事項

### 報告事項①

#### 南相馬市新庁舎建設基本計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について

##### ○林会長

それでは、報告事項①の「南相馬市新庁舎建設基本計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について」を議題といたします。担当課より説明をお願いします。

公有財産管理課 資料1により説明

##### ○林会長

それでは、只今の説明について質問があれば、お願いいたします。

##### ○志賀委員

市民アンケートを実施したということですが、建設ありきのアンケートだったのか、アンケートの時点では建設をやる・やらないを検討するアンケートだったのか。

##### ○公有財産管理課 新庁舎建設推進係長

市民アンケートについては、その当時としましては建設ありきではなく、どういった庁舎が必要か、どのような機能が必要かというような内容のアンケートでした。建設地についてもまだないものでした。

##### ○志賀委員

建設すべきか、しなくてもよいかの問いはあったのか。要は、アンケートは誘導策で使えるものですから、建設の方にもっていくようにアンケートの内容を作ればそういう答えが出てくる、それを背景にやりましょうと誘導できるのではないか。

なぜこのような質問をしたかと言うと、もう少し小高のことをなんとかしてからやってほしいという思いが少しある。しかし先日地震があったので、司令塔となるべき所が市役所、避難すべき所が市役所であるということを踏まえると、やるべきことはやらないといけないと思う。鹿島区役所も古いと思っている。そういう意味でアンケートの質問をしようと思った。アンケートにどういう目的があったのか聞いてみたい。

○公有財産管理課長

アンケートの目的ですが、先ほど庁舎に問題を抱えています、との話しをしました。その中で、「新庁舎建設計画を行っていて、この計画に対する市民の皆さまの考え方、ご意見を基本計画に役立てていくことが目的」という形でアンケートを行いました。

○末委員

用地取得の費用として4億円計上していますが、建設の配置図の中で用地取得はどの程度となるのか。

○公有財産管理課 新庁舎建設推進係長

取得予定の民地の面積はおおよそ2,500㎡を予定しております。

○末委員

庁舎建設予定地の中のどの辺りを買うのか。

○公有財産管理課 新庁舎建設推進係長

工事予定の実際の民地の詳細部分については、現在基本計画が策定中であるため、実際の用地取得のスケジュールはこれからという形になっておりますので、現在のところ対象地としては明示しておりません。

○林会長

これだけのお金をかけて新庁舎を建てるという計画自体はかまわない。しかし、これを建てることによって、市街地活性化といったことは全く考えていないのか。なぜかという、ゆめはつとを建てた段階で、失敗したという意見が多かった。駐車場が狭い、等で建設自体が小規模になってしまった。そんな話があった場所に市役所を建てることで、原町の市街地活性化はされますか。20何年間か市街地活性化をいろいろやってきているが、これだけのお金を使って庁舎を建て、何も周りが変わらないのは意味がない。

今、南相馬インターから、高規格道路が許可になり、作れるはずである。高規格道路が6号線に届いた時点から場所の選定をしても遅くないのではないか。土地の買収で2,500㎡の土地で4億円はとんでもない金額である。別の所で土地を買えば1万㎡どころかもっと買える。そう考えられないか。

庁舎機能の中で、災害時（水害時）の避難場所は行政の中に確保はしないのか。庁舎機能の中に取り入れていいのではないか。計画にはそういうことも入っていない。

選んできた建設予定地は、「新庁舎を作ろう」という話が出た時から、「あそこに持ってきてくれ」という意見が多かった場所である。ある程度、政治対応でやられているのではないか。そういうことがあってはならない。

現在の庁舎は、耐用年数の50年も過ぎているが耐震対策はしている。庁舎が狭いため、東庁舎、北庁舎と増やしている。狭いことは理解している。しかし市全体の動きがあまり考えられていないのではないか。

メイン道路に接しているとしているが、高規格道路が出来たらメイン道路ではなくなる。12号線が通っているが、それも市道になる。市長は100年のまちづくりと言っている。今から10年先を見据えて、もう少し考えた施策があってもいいのではないか、というのが今のところの意見である。

#### ○公有財産管理課長

ご意見ありがとうございます。冒頭で説明させていただいたところですが、今回はパブリックコメントを行う旨の内容となっています。今ほど頂いた意見につきましてはパブリックコメントの意見といたしましてあらためて検討いたします。

土地代が高いのではないかとのことですが、土地代だけではなく、こちらには建物もあり、このような金額となっています。

避難場所関係ですが、現在庁舎の来庁者駐車場は81台確保しています。新庁舎の敷地内には286台確保する予定です。その中には実際に来庁者が使う駐車場として90台ほどを想定しています。それ以外につきましてはゆめはっと利用者の駐車場や、有事の際の避難場所として駐車場を使えるよう想定しています。

#### ○林会長

駐車場を避難所に使うと言っているが、避難は車で行く。車がいっぱいに入るところがないのではないか。

#### ○公有財産管理課長

駐車場は避難所としての設定ではありません。避難場所です。

#### ○林会長

そうであるとしても、あてには出来ない。

#### ○公有財産管理課長

ご意見いただいたことは後ほど検討していきたい。

○林会長

日中にゆめはっとでイベントをやっている時、来庁者とゆめはっと利用者で駐車場が満杯にならないか。来庁者が止めるところがない、ということにならないか。

○公有財産管理課長

駐車場について説明させてください。資料48ページを見て頂ければと思います。左側の図面が現在の来庁者やゆめはっと駐車場の図面となります。青の部分が現庁舎の駐車場、庁舎前庭32台、中庭22台、北庁舎27台で合計81台となっています。ゆめはっとの駐車場として黄色く塗られている中の、青く括っている箇所についても来庁者が駐車している所となります。右側の図面は新庁舎の駐車場です。来庁者駐車場想定ですが、新庁舎敷地内に286台、北庁舎27台で合計313台を想定しています。現庁舎が建っている場所を、新たにゆめはっとの駐車場として220台を確保しつつ、新庁舎敷地内の駐車場については、ゆめはっとのお客様と来庁者等の多目的活用駐車場としております。来庁者駐車場を90台と想定しており、差し引き196台についてはゆめはっとの駐車場としても利用可能というふうに考えています。

○林会長

196台確保したといっても、2人で1台に乗ってきても約390人、ゆめはっとの収容人数は1,100人なので、全然足りない。一番心配されるのは、パブリックコメントに出ると「その内容で進んで行く」となってしまうこと。自分の意見は数からいうと少数意見であり、絶対通らない。こういうのは、地域協議会で揉んで揉んで揉んで、そこで結論を出すのが正解だと思っている。小高はそういうふうに持っていきたい。反対はしません。作るなら揉んだうえでお金を投資する。これだけのお金を使って立派な庁舎が出来ました、だけではなく。面積がなければ建物を高くすればいい。そういうこともふまえて考える余地はまだある。

小高区の区長会から代表して市民検討委員会へ委員を出している。建設会社で建設に携わっているものが、こうした方がいいよ、と言っても周りの意見に潰されてしまう。そういう中で検討しているのだから、うまくいかないのではと心配している。みなさんもよく資料を読んで、パブリックコメントに意見をどんどん出してください。でないと潰れてしまう。はじめに話をしましたが、この設置場所は「俺の土地ここにあるからここに作ってほしい」という意見が多くあって決まったようなところがある場所である。

○飯塚委員

新しい庁舎には、空から離発着出来る場所がありますか。これから50年だとしたら、必要ではないか。

○林会長

ヘリポート設置はかなりハードルが高い。

○志賀委員

ヘリポートの他にロボットテストフィールドでドローンをやっているのので、ドローンを活かす設備があった方がいいな、とは思いました。

○林会長

作るとしたらビルの屋上。ただ、ビルの屋上に作るって、周りに住宅があったらヘリもそうだけど許可にならない。そうゆうことも考えた場所の選定を本気になって考えないと、今ここだけの目的だけでやったら、100年のまちづくりは出来ない。そういうふうに思う。

○志賀委員

建物は地震に対応出来るけど、地盤は大丈夫なのかは抜けている。外観はどうするのか。相馬市役所は野馬追をイメージしたような庁舎の外観にしている。

今日も、北朝鮮からミサイルが発射された。地下にシェルターを作るにもお金がかかる。

なんでもIT化されている時なのでバックデータの確保はどのように対応しているのか。

私個人は3.11の時福島市にいた。福島市の庁舎は出来て間もなくだった。南相馬や双葉の方の人が集まって避難場所になった。その時に、空きスペース、ユーティリティのスペースは大切だと思った。空き部屋を空き部屋ではなくどう活用するか、そのようなことも検討することが必要。

また、現在市長室は3階にあるが、2階でいいのではないか。議会事務局、教育委員会が3階に上げて、市役所の真ん中あたりでいいのでは。他の市町村を視察した時、2階に市長室があったところがあった。理由を聞いたところ「人が出入りしやすいところ、みんな来やすいところに市長室を置いた」と話していた。

○林会長

それ以外に皆さんから質問ございますでしょうか。それでは以上で、報告事項①を終わります。

## 報告事項②

### 南相馬市地域おこし協力隊活動報告について

#### ○林会長

それでは、報告事項②の「南相馬市地域おこし協力隊活動報告について」を議題といたします。担当課より説明をお願いします。

商工労政課 資料3により説明

#### ○林会長

それでは、只今の説明について質問があれば、お願いいたします。

#### ○末委員

小高に来て起業していただいて、頑張っていることは知っているが、ほとんどの小高区民が活動を知らないのが実態。半年に1回広報で活動のお知らせが来ても、年配の方が多くなかなか理解できない。若い人同士なら興味持つのでしょうか、正直なところ高齢の地域住民が興味持っていない。小高のためにせっかく活動してくれているが、住民の半分は無関心みたいな感じ。町場の行政区はともかく、ちょっと離れた行政区になると関心も低い。もっと地域の中に入ってきて、地域の集まりで試食・試飲してもらって、そこで活動報告をしてほしい。年寄相手になるので、地域に入ってきてもらいたいなと思います。

#### ○小林委員

その意見も確かに貴重なのですが、これだけ人口が減ってしまった地域で活動してくれている人たちに対して、私たち年寄りが逆に積極的にどういうことしてるのって、「そっちからこいよ」でなくて、「こっちもいく」っていう立場も必要なんじゃないかなって思います。

#### ○末委員

興味を持たせることが大事。だいたいの方は興味持たない。

#### ○小林委員

地域の人たちも興味を持たなきゃいけないんじゃないですか？地域協議会委員の私たちが、こういう人がいるって伝えていくってことが必要だと思うんです。この会議の中で聞いたら、地域で伝えることも必要なんじゃないかなって思う。



### ○小高区役所長

今の議論、活発なご意見ありがとうございます。その前にも出ました、移住者に、ずっと残ってもらうということは私も大事だと思っています。「行政としてやらないといけないことは何なのか」と考えている。せっかく移住してくれた若い人に、このまま小高に残ってもらいたいというのは、皆さんそう思っていると思いますけれども、「何が不足しているのだろう」ということについては、「移住した若い人の意見を聞くこと」がまず大事なんだろうと思います。その中で行政の課題っていうのが、医者のことなのか、住まいのことなのか、実質的に本当に不足しているものを洗い出すことが行政として必要だと思います。

それともう一つ、末委員からもありましたけれども、私も同じように思っていたんです。「移住して若い人が頑張っています」確かに頑張っているのですが、もともと小高に住んでいる人ってなかなか積極的じゃない面があるので、「新しい店ができたけど敷居が高くて入りづらい」と感じているのだと思います。一回行けば敷居が下がって、自分が行かなくても、子どもさんなり、お孫さんがお土産を買いたいときに紹介できるようになるんじゃないのかと思います。

今年やらなければならないのは、移住した人の声を聴くことと、地域の皆さんに小高にできた新しいお店を知ってもらうこと。「いつやる」とすぐには言うことはできませんが、もともと小高に住んでいる方に若い人を知ってもらうことは必要だと思いますので、これからよろしくお願いします。

### ○林会長

今、区役所長からありましたけれども、昨年度、地域協議会でも若い人のところを回ってきました。今年度も何回かやってもいいんじゃないかなと思います。

### ○小牛田委員

去年行ったときに思ったのですが、結局コロナでなかなか発表する場がないですね。イベントで町の商店が出店したときに試飲してもらって、おいしければ買ってもらう、そうやって広げてもらうのが一番早いと思うんですけど。今年はそういうイベントができるようになればいいなと思います。そうしないと、若い人たちが小高の中に入ってこられない状況が続くから、市役所の方でも、イベントある時には声かけて出店してもらって小高の人に知ってもらえるよう動いてもらいたいなって思います。

○杉委員

小高に移住されて皆さん頑張っていて感心しました。先日、行政区で総会を開きました。その時に、水谷さんに総会に来ていただいて、みんなの前で説明する場を設けたんですよね。大概の人は知りませんでした。そういう場に若い人に来てもらう機会を作ることで、こういうことをしてるんだなど広く地区に示されるのかななんて思うんで、その人それぞれのやり方で地区の活性化を図るってことでいいのかなって思いました。

○林会長

今年はぜひとも文化祭、秋の祭りはやりたいと。ああいう場を接触の場にしたい。ここ2年コロナでやってない。ぜひともやりたいと考えてます。なかなかお金がなくて前は2日間やっていたが、1日しかできない。できるだけそういう機会を作る、自分の行政区の近くに、近くでなくてもいいけど、何か呼んで話してもらおう。

28日に行政区で防災対策の集まりを開催する。その中で、高齢者の避難を迅速に行うためにITを活用できないか、小高に移住してIT会社を起業した玉沢さんに相談をしている。そういう人たちと関りをもって、接触の機会を持ってほしい。何かやってほしい、自分のところでこれやってほしいってことがあれば区役所に相談して、人を紹介してもらってほしい。

○株式会社 小高ワーカーズベース 和田 智行様

ご意見ありがとうございます。呼んでいただければどこでも飛んでいきたいと思っております。区役所経由でも構わないのでご連絡いただきたいと思っております。今週の土曜日、昨年度の報告会を銘醸館でやるのでぜひ足を運んでください。だいたい、2か月に一回くらいのペースで各起業家が地域の人と交流するためのちょっとした交流イベントなんかも予定していますのでそちらも多くの方にご案内できるように努めたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

5. その他

○林会長

5. その他に移ります。

その他①

おだかぐらし体験ツアーについて

○林会長

それでは、その他(1)の「おだかぐらし体験ツアーについて」説明をしていただきます。担当課より説明をお願いします。

○林会長

それでは、只今の説明について質問があれば、お願いいたします。

○小林委員

小高区への移住を希望する皆さんを外から呼んでいるのですが、受け入れる方の充実さが足りないと思う。『いしょくじゅう』の整備が必要。『い』は『衣』ではなく『医療』の『医』です。まず住むところの提供。公営住宅も1年しか入れない。そういう意味では定住はできないと思う。あとは常磐線の原ノ町駅での乗り換え。これを何とかしてほしい。あとは救急車の対応。何かあった時、搬送まで1時間待ちはつらいものがある。その辺の医療体制・救急医療の充実をお願いしたい。そういうことを充実させて、「おだかぐらし」という受け入れる側の姿勢をちゃんとしないと、いくら人呼んでも定着しないと思うんですね。仕事は若い人が自分たちで立ち上げることができていますが、それをバックアップする市の体制が欲しいと思っています。

○志賀委員

確か5年前くらいに福島県内で移住者促進事業を行っている市町村が集まって、活動発表する場があり、10組程度が参加していました。双葉地域の町村の人と一緒に聞きに行きましたが、素晴らしいプレゼンで、これはアドバンテージがあって大変だよなと思った記憶があります。内容を聞いていますと、官民一体で促進をしている。「やってよ」というスタンスではなく、「一緒にやろうよ」というスタンスがとても見てとれました。この事業についてもどんな形で、大川さんに任せるのか、どんな形でプッシュしているのか、そんな思いがありました。

いま、小林さんから話ありましたが、『医食住』が人の生活で一番大事です。切り開いていくのも大切ですが、最低限のところの安定は必要だろうなって思います。そういった部分をどこかでプッシュしてもらえればなと思うんですけども、どんな感じになってるのかなってというのが私の感想です。

○小高区地域振興課おだかぐらし担当係長

今、志賀委員からいただいた質問の答えにはならないかもしれませんが、おだかぐらし担当では、移住に関心のある方などを対象に、小高への移住の関心度を高めるため、ツアーで小高の良さを知ってもらう、体験してもらうことに取り組んでいきます。ツアーに加えて、小高区の認知度向

上のため、おだかぐらしプロモーション事業としてウェブメディアやテレビ番組などを活用した情報発信に取り組んでまいります。

また、地域とのかかわりを深めるという意味では、昨年、地域のお世話人ということで25人の方にお世話人に登録をいただいております。昨年は活動が6回と活発な活動はできなかったところではありますが、今年度は、ツアーに参加した方をお世話人とつないで、地域とのかかわり、関心を持ってもらうとか、例えば地域で困っていることをツアーに参加した人に体験してもらって、小高に住むイメージを感じてもらおうなどの取り組みを進めていく考えです。

#### ○林会長

私も、おだかぐらしの活動の中で教育委員みたいなものをやらせてもらっていますが、実状として小高は今、農家が多いと思うんですよ。農業に取り組みたいってことで移住してきた人っていますかね。あればお聞かせください。

#### ○小高区地域振興課おだかぐらし担当係長

南鳩原で hinataba さんが花農家をされています。この方は、県内からの移住ということにはなりますが、カスミソウを中心に今いろいろな花を小高で育てて販売するだけでなく、花を加工した商品を地元の方と協力して開発したいなどおっしゃっていました。その方以外にも、U ターンを検討しながら、井田川でブルーベリー農園をされる方もいらっしゃいます。

#### ○林会長

移住ってというか、気軽に足を踏み入れてもらえるような地元としての対応の仕方、そういう環境を作っておくことが人を呼ぶために最低限必要なことであって、さらに医食住を整えたいうえで、状況を提示して小高に来ませんか、とやらないと早く移住してくれないと思う。

大きな農業ばかりが農業じゃない。地域の環境っていうのは農業をやることでよくなるっていうのが私の主義なんですけど、そのためにはですね、今この地区（小高区）は高齢者が多いわけですね。高齢者は農地を持っていても耕せないから管理を委託している。そういう状況になっているから収入もなく、ただお願いしているだけという状況になっているわけですよ。そういう人たちと一緒に移住者が生活するっていうことをやってみたらどうですか。その中で農業の技術を覚えて、そしたら将来2～3年たてば独立できるかもしれない。一朝一夕で農業はできるものではないし、覚えるのに3年かかる。3年かかってもまともにできるかっていうと、自然

を相手に生活しないといけないから自然の読み方も覚えなきゃいけない。そういうことを考えた時に、移住したい希望者を受け入れるために、地元として足を踏み込んでくれるような状況を先に作っておく。その中で3年・4年といってもらえれば、おのずと定住してくれるだろうと思う。

それ以外にも起業するために来る移住者もいる。あと、県とか市でいろんな施設を作っていますよね。そこを運営するのも、地元の人たちでは足りないのだから外から若い人をどのくらい雇えるのか聞いたところ、今度着工したのは40人くらい採用すると。それってまるっきり会社組織の農業。その従業員を雇えるか。ただ、それだけでは暇になる時期もあるので、その時期の生活の保障のことまで覚悟してやらないと。年間150万～200万は保証してやらないと最低限の生活ができない。そういうことを考えた行政の取り組みも大事になっていると思う。

今回紹介してもらった、この事業はこれからも必要なものなので皆さんも必要に応じて応援していただきたい。

#### ○株式会社 Huber 大川翔氏

ご質問等ありがとうございました。農業体験とか、就農希望者を連れてくるのは大切なことだと、昨年1年活動して感じました。今年度に関しては農業体験のコンテンツをアテンドの中に入れていくことを進めております。農業体験というコンテンツを外から来た人が体験していただく考えです。なお、農業をされてる方でご協力いただける方がいれば、おだかぐらし担当係の方にご連絡ください。私たちは外から連れてくることはできません、定着させるためには皆さんの協力が必要なので、これからもよろしくお願いします。

#### ○小高区地域振興課おだかぐらし担当係長

情報提供になりますが、令和3年度におだかぐらし通信を5回発行しました。昨年は小高のみでしたが、全市に広げて、今年度の第一号を6月15日に発行したいと考えています。もう一点ですが、5月26日午後7時半から8時までNHK BSプレミアムで「いいいじゅー!!」という番組が放送されます。haccobaさんが取り上げられているので、お時間がある方は、ぜひご覧いただいて小高でいろんな若い人の活動を知ってもらって、お知り合いの方に広めていただきたいと思います。ありがとうございました。

#### ○林会長

次に、その他(2)「次回会議開催について」を議題といたします。事務局よりお願いします。

○事務局

次回の地域協議会ですが、令和4年7月21日（木）午前10時から開催を予定しています。詳細が決まりましたら、事務局より通知にてご連絡いたします。

○林会長

それ以外に、皆さんから何かございますでしょうか。

○末委員

区役所に要望なのですが、金性寺から小高小学校までの通学路について、歩道の路肩の草を年に何回か除草してほしい。通学路だから小高のメイン道路と思っているので、市として何とかしてもらいたい。

○市民総合サービス課長

確認の上、対応したいと思います。

○飯塚委員

6月2日にイノベーションコースト構想の市民勉強会が開催される予定だと思いますが、各団体10名までの参加となっておりますが、地域協議会からの参加はどうしますか。

○林会長

私は別件の会議が入っているので参加ができないので、参加できる方は積極的に参加してください。ぜひ出てもらって、次回議論するとき、意見を出してください。

○事務局

教育総務課より、「みらい育成修学資金条例の一部改正にかかるパブリックコメント実施について」地域協議会への報告依頼を受けております。パブリックコメントの期間が6月24日からであること、6月に地域協議会の開催がないことから、こちらの報告事項を書面にて実施させていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○林会長

他に何かありますでしょうか。なければ進行を事務局にお返しいたします。

## 6. 閉 会

### ○事務局

以上をもちまして、令和4年度第2回南相馬市小高区地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

令和4年度第2回小高区地域協議会会議録

小高区地域協議会長 林 勝典

会議録署名人 末永 義人

会議録署名人 小林 反子